

月刊 Gs グラフィックサービス

No.851 2022 10

■ 巻頭言

特殊詐欺にご注意を

——東京・城東支部長／(株)東京巧版社 村井 隆

■ 巻頭企画

ジャグラの広報、どうあるべきか？

広報委員によるリアル座談会

■ 連載・シリーズ

「ものづくり補助金」でPOD+デジタル加飾機を導入

(株)文成社（東京・文京）さんの事例

■ 特別企画

エジソンと堀井新治郎の交流示す手紙発見

■ NEWSとお知らせ

日本自費出版文化賞大賞が決定

東京グラフィックスが創立60周年



GS

No.851
2022
10

CONTENTS

■ 巻頭言

1 特殊詐欺にご注意を

東京・城東支部長／(株)東京巧版社 村井 隆

■ 巻頭企画

2 ジャグラの広報、 どうあるべきか？

ジャグラコンパクト DX 事業をいかに伝えていくか
広報委員によるリアル座談会

■ 特別企画

16 エジソンと堀井新治郎の交流示す手紙発見 東近江市にガリ版の歴史を辿る貴重な資料

東近江市／ガリ版伝承館

■ 連載・シリーズ

20 【新シリーズ開始】補助金採択企業インタビュー①

「ものづくり補助金」で
POD+デジタル加飾機を導入
箔押し印刷の内製化を実現！

(株)文成社(東京・文京)さんの事例



本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください
Eメール edit@jagra.or.jp 電話 **03-3667-2271** ファクス **03-3661-9006**
お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 〒103-0001
(一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

電子版無料公開中！

スマホでも本誌が読めます

公式HPで本誌PDF版を公開中！
毎月、紙媒体より早くご覧いただけます
バックナンバー閲覧もここから



<https://www.jagra.or.jp/>



「ジャグラ BB」もご覧ください
経営・教育番組を多数配信中！
jagrab.net

■ NEWSとお知らせ

9 ジャグラBBホットニュース

12 IGAS2022のご案内

13 年賀見本帳ダウンロード開始

26 業界の動き

9.6 宮城県支部が会員企業を挨拶回り
東京グラフィックスが創立60周年
(株)井上総合印刷がミウラ折りのライセンス取得

28 日本自費出版文化賞大賞に 佐賀・寺内ユミさんの 『There I sense something』

29 事務局日誌と今後の予定

- 10 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)
- 11 ホリゾン・ジャパン(株)
- 14 (株)モリサワ
- 15 東京リスマチック(株)
- 18 リコージャパン(株)
- 19 (株)ショーワ
- 表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

特殊詐欺にご注意を

東京・城東支部長 (株)東京巧版社 村井 隆



その日曜日は久々に高校時代の友人5人で昼から飲み、2軒ハシゴをして自宅に戻ったのは夜9時頃だった。気持ちよく風呂で汗を流し、リビングのテーブルにいつも置いてあるノートパソコンを開き YouTube を見ていた。11時を過ぎた頃、「明日は月曜だし、そろそろやめて寝るかなあ〜」と思った瞬間！画面に「WindowsDefender セキュリティセンター・検出された脅威：トロイの木馬スパイウェア」なるウインドウが現れた。

「ヤバイ、やられた！」と思い、表示されている「スキャン」をクリックしてみたが何も変わらない。いろいろなところをクリックしたが変化なし。その間にも女性の合成音声がかやや早口で、「コンピューターをシャットダウンまたは再起動しない

でください。これを行うとデータの損失や個人情報の盗難につながる可能性があります。コンピューターロックは違法行為を調べさせることを目的としています。すぐにサポートにお電話ください。重要なセキュリティーメッセージはあなたのコンピューターがロックされている。あなたの IP アドレスは個人情報の盗難ウイルスを含むウェブサイトを訪問するあなたの知識や同意なしに使用されました。コンピューターのロックを解除するにはすぐにサポートに連絡してください」と繰り返し繰り返し流れている。

少し考えていたがどうしようもないので、表示されている Microsoft サポートにスマホから電話をかけた。少し待って呼び出し音が聞こえ、早口の英語で何か合成音声で5秒ほど流れ、また呼び出し音になった。15回程鳴った所で、ようやくカタコトの日本語の男性が出た。周りでも誰か喋っているのが聞こえたが、東南アジア系(よく行くネパール料理屋の彼に口調がソックリ！ゴメン^^)の感じで「どうしましたか？」「トロイの木馬ウイルスにかかったらしい」「わかりました。キーボードの下の方にある Windows キーと R キーを同時に押してください。そうすれば再起動できます」。しかし、押しても変化なし。「どうですか」「変化ありません」「もう一度」「変わりません」「もう一度」「だめです」……。

こんなやり取りが20回程続いた後「コンピューターが壊れています。これはあなたの責任で直すしかないのでお金がかかります」「え？ どうすればいいですか」「近くにコンビニありますか。すぐ行けますか。この電話は無料だからあなたはお金がからない。このままコンビニ行ってグーグルプレイカードを3万円買ってスクラッチ削ってセキュリティコード私に教えてくれればこちらで修理できます」「3万円？ このまますぐ？」「そうです。電話代かかりません。大丈夫。コンビニ行ってくださ

い」「ん〜」「どうしましたか。電話代ただです。すぐ行けますか」……。しつこくコンビニに行くことを要求してくる……。怪しいい〜(後日、いつもより1000円程度高い電話代請求書が届いた)

もう11時30分を過ぎてパジャマの私はそんな元気もなく、トイレも行きたくなって電話を切った。その後、非通知設定の着信が7回続いた。もちろん出ない。その間に私もスマホでこのような詐欺サイトがないか調べた。すぐに答えが出た。対処方法が書いてあるのでその通りにしたところ、元に戻った。良かったああ！ 就寝 zzzz

翌日、スマホに動画を残しておいたのでゆっくり画面を見てみると、喋っている合成音声の日本語の言い回しがおかしいのと、表示画面が「このへのアクセスは」と思いつき間違っているではないか。

「電話代は無料だからこのまま今すぐコンビニへ！」など、慌てさせてお金を振り込ませようとするのが彼らの手段だろうけど、やはり慌てました。もう少しでコンビニへ行くとこでした。地元の消費生活センターに問い合わせたところ、3万円では直らないから再度5万円・10万円と振込を何度も継続させ、最終的にはカード番号と暗証番号まで聞かれたり、有償ソフトの購入やサポート契約に誘導するケースもあるそうです。

世の中では特殊詐欺で毎日のように被害が増えています。警視庁のサイト(QRコード参照)によれば、特殊詐欺は下記の10類型に分類されます。オレオレ詐欺・預貯金詐欺・架空料金請求詐欺・還付金詐欺・融資保証金詐欺・金融商品詐欺・ギャンブル詐欺・交際あっせん詐欺・キャッシュカード詐欺盗(窃盗)・その他の特殊詐欺。皆さんも特殊詐欺にご注意ください。



警視庁
特殊詐欺まるわかりサイト



警視庁防犯アプリ
「Digi Police」(デジポリス)
Android 版(左) iOS 版(右)



ジャグラの広報、どうあるべきか？

【広報委員によるリアル座談会】

ジャグラコンパクトDX事業をいかに伝えていくか

6月4日の定時総会以降、本格的に各事業の委員会活動がスタートを切りました。今期は機関誌、ジャグラBB、ホームページといったジャグラの情報発信媒体を担う部門を統合した広報委員会を組織し、会員内外に向けた情報発信の一元化、より密な情報発信をしていくべく、本村豪経委員長をはじめとするメンバーが全国から集まりました。広報活動の一つの命題ともなっているジャグラコンパクトDX事業の情報発信、そして、これからの広報事業の展望について、広報委員会メンバーで語り合っていました。

×

ジャグラコンパクトDX事業PRが命題

■神山 ジャグラコンパクトDXを何故やらなければならないか、岡本会長は印刷業界が非常に厳しい経営環境にあり、ヒト、モノ、カネが足りていないという現状を指摘しています。そんな中、ジャグラの存在意

義とは何かということで3つ挙げています。一つ目は、諸先輩が築いてきた「絆」です。そして二番目が「学びの場」です。会員はジャグラBBを通じて経営者に限らず、社員もDTPなどの技術を取得できます。機関誌では他社の取り組みを知ることができます。こうした様々な技術、マーケット情報の共有ができる存在だと定義しています。そして新たに三つ目に、会員各社がそれぞれ抱える未来への解決策をジャグラコンパクトDX事業で具現化していこうと、今年6月の愛知大会でキックオフされました。

ジャグラコンパクトDXは、生産性向上、MIS研究、地域活性化、業態進化という具体的な4つの柱で構成し、今期からそれぞれの委員会で活動しています。

例えば業態進化委員会では、MA(マーケティングオートメーション)や自動組版、自動検品等のデジタルを生かしたツールの研究を行っています。

地域活性化委員会は、GIS(地理情報システム)を使っ

たコトづくりを目指しています。私も詳しいことはまだ分かりませんが、様々なソフトを使いながら新しい仕事を創っていくということだと理解しています。

生産性向上委員会は、付加価値の向上ということでRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を組み合わせる生産の価値を高めていこうとしています。

MIS研究委員会は、どんぶり勘定から脱却すべく立ち上げました。単品損益管理をしていくことで利益を把握していこうという流れになります。

岡本会長は、生産性向上委員会や地域活性化委員会について機関誌で定期的に情報を発信していこうとしています。今、各委員会でツールや事例づくりが検討されていますが、その情報を定期的にジャグラBBや機関誌で紹介していければと考えています。加えて、これはまだ構想段階ですが、ジャグラコンパクトDXで提供するソフトやサービスの提案書に関して、ジャグラBBをポータルサイトとして利用できればと考えています。今回の広報事業の一元化は、ジャグラコンパクトDXの周知を加速する狙いがあります。

私レベルでは考えが付かないところもありますが、今回、若い人たちに集結してもらい、そうした岡本会長の想いを実現していきたいと思います。今日の座談会を通じて、今後の広報事業について皆さんと想いを共有していければと期待しています。

■本村 神山副会長のご説明の通り、DXの4委員会を通じて、会員各社がどう創注していくのか、売上拡大がキーワードになっています。文面では伝わりにくい内容をいかに動画で説明し、動画では理解しにくい内容をいかに機関誌で紹介するのか、両方をリンクさせることや必要資料をホームページからダウンロードできるような設えにしたりすること、今まで別々だった機関誌と動画、ホームページの連携が要望として挙げられています。結果として、会員がジャグラの広報ツールを使って成長して欲しいという会長の想いがそ

出・席・者

担当理事	神山 明彦	愛知・(株)カミヤマ / 副会長
委員長	本村 豪経	福岡・アイメディア(株) / 理事
委員	東海林正豊	秋田・(株)東海林印刷
	谷山 和也	東京・善文堂(株)
	野口 聡	東京・(株)アクティブ
	小澤孝一郎	山梨・(株)オズプリンティング
	安達 睦男	大分・(有)舞鶴孔版
	瀬尾 淳	広島・(株)広瀬印刷
	三宮 健司	高知・(有)三宮印刷
	佐藤 愛子	大分・(株)クリエイツ
	影山 史枝	外部委員・(株)スイッチ
	田中 良平	専務理事
事務局	阿部奈津子	
	今田 豪	

こにはあります。僕らはそれを念頭に置きつつ広報事業について考えていきます。

そして会員だけでなく、対外的に「価値ある情報を得たいならジャグラに入ってください」と言えるようにするには、どこに目を向けていくのかが大切になると思っています。

■安達 会員外というのがどういう範囲なのか分からない部分もありますが、まずは会員が知らないことを前提に知ってもらいたいというのがあります。方法についてはトライ＆エラーみたいにやっていくことが大切です。知恵を絞ってまず会員への周知に力を入れなければなりません。

■三宮 ホームページを見てもジャグラコンパクトDXについて分からないし、ジャグラBBもすぐにリンクから飛ぶことができない。もう少し分かりやすくする必要がありますよね。高知のNさんに機関誌について意見を聞いたところ、「つまらん」と言われましたが、毎月隅から隅まで読んでいるそうで、中でも巻頭言が一番楽しみにしているそうです。経営者の生の声は考え方が伝わってきて勉強になるから、できるだけ投稿されたままの原稿を載せて欲しいと言われました。

■本村 もっと全国800社の色んな人の考えや想いが



左から神山副会長、本村委員長、安達委員、三宮委員、東海林委員

伝わるような機関誌を見たいということですね。

■東海林 各支部の会員は印刷業だけですか？ 秋田は半分以上が異業種です。つまりこちらの感覚で会員と言えば、異業種も含まれるんです。

■本村 福岡は基本、印刷業だけでベンダーさんやメーカーさんは準会員です。どうすればそんな構成になるんですか？

■東海林 一番はプライバシーマークの取得という切り口での勧誘です。今後、ジャグラという団体を、どのような姿にするのかというテーマになると思いますが、純粋な印刷会社は絶対に減少傾向にあるんじゃないですか。なので、会員を増やしていくとなると、異業種に目を向けるのは当然です。そうすると印刷業のことばかり発信しても、業界外の人には響かない気がします。

■神山 愛知県に関してはグラフィックサービスに関わる業種ならすべて OK ということで、当然、製本会社さんや紙工会社さんが入っています。それとデザイン会社や Web 会社もです。紙屋さんとかは資材業者として協賛会員になってもらっています。

■安達 大分は親会が印刷業のみで、青年部は異業種も入っていますね。

■野口 東京は結構幅広いです。メールサービスから紙器加工もあれば、コンサルやウチみたいにラベル印刷もありますし、廃品回収や配送とか印刷に関わるものなら広く入ってきていますね。

■本村 東京の場合は分業がすごいからそれに関わる人がどんどん入ってくるんでしょうか。

■野口 企画だけとか、個人単位のデザイナーさんとか、FACE（東京地協青年部）一括で見ると、印刷の流れ全部揃う感じかな。スタートからゴールまで割と全部いますね。

■三宮 四国はハンコ屋が珍しいところかな。

■瀬尾 広島は純粋に印刷会社で構成していて、あとは賛助会員として所属しています。

■小澤 山梨も基本的に印刷業です。他の業種が入っているというお話にびっくりしました。

■東海林 伝える内容は印刷でもいいと思うんです。印刷外の会員が読んでも「こんなこともやっているのね」という情報になるから。ただ、あまりにもターゲットを絞り過ぎちゃうと逆にちょっと考えないですかね。

■佐藤 大分で印刷業以外の人にも声をかけています



久しぶりのリアル会議で笑顔の皆さん
今期の広報委員は全国各地から集まりました

けど入ってくれないです。交流会とかもあるけど会員になってもらう魅力が足りないのかなと思います。

■本村 そこだよね。今、新たにジャグラに入ってもらおうっていうとき、どんなメリットがあって、何が得なのか、魅力が絶対に必要になります。機関誌やジャグラ BB がそのコンテンツになればと思うんですが……。ジャグラや地方の組織では、会員になれば共同で資材を購入して安く手に入るとか、組織に入っているから県の入札に参加できるというメリットがあったので皆入っていました。

福岡県は支部独自で設備投資のためなどの低金利ローンとかもありました。そうしたメリットから広がっていったと思うんですけど、今では資材も自社で直接買った方が安くなったりして、組織の存在意義が薄れてきています。僕らが会員拡大を考えると、何をメリットに人を誘うかが明確になっていないから、誘いにくい環境になっていますよね。だからこそ「ジャグラってこんないいことがあるんだよ」「全国にこんな仲間がいるんだよ」ということを広めなければならぬと感じます。ジャグラコンパクト DX も広めなければいけないし、やらなければならないことがいっぱいありますね（笑）。

多様な会員構成、広報の難しさ

（編集部）ここに集まっているメンバーの支部の話だけでもすでに受け取り方が異なることが分かりました。印刷業という括りが大きく変わる中で、どのようにジャグラコンパクト DX を発信していこうと考えていますか？

■本村 これまでの話を聞いて思うのは、会員外に向けた情報発信も必要だけど、会員の役に立つ情報が多く伝わっていないという問題も見えてきているので、まずはターゲットとしては会員を第一に考え、伝えていくことが大切じゃないでしょうか。

■瀬尾 確かに大切なんだけど、少し迷いがあって、単純に会員外に発信する意味は何でしょうか？

■神山 恐らくジャグラ以外の印刷関連団体全体のことを指しているのではないかな。そこも含めて印刷に携わる会社をターゲットにと考えていると思います。

■本村 他団体も DX 事業をやっています。ジャグラのコンパクト DX 事業、他団体の DX 事業、どの団体に所属していても印刷に携わる会社が自社に合った DX 事業を選べるような横のつながりを持ちたいということだととらえています。

■瀬尾 グラフィックサービス業に他業種が入っている中で、あくまでも印刷関連業に収まるのであれば少し矛盾することになります。広報の在り方として、印刷業に特化した情報を謳った場合、異業種がどんな反応をするでしょうか。

■神山 紙にインキを載せることだけが印刷業ではないです。データ制作や発送もグラフィックサービスととらえています。印刷だけではないという概念は持っていていただいて良いと思います。ジャグラは名称変更した時点でそれは謳っていると思うんですよ。

■瀬尾 僕もすでに紙にプレスするというのが頭にないので……。印刷＝グラフィックサービスって僕的にはコンサル的なところまで含んで考えています。

■本村 基本的に機関誌は会員向けでいいと思います。でもジャグラ BB では、短い番宣的なものも作って本編を見たくるようにしていきたいと考えてます。会員外の方にも知ってもらうためのアクションをまずは起こさないといけないと僕は思います。

■三宮 DX の各委員が何を通じて、目的を実現しようとしているのかなどが大事な気がします。それが印

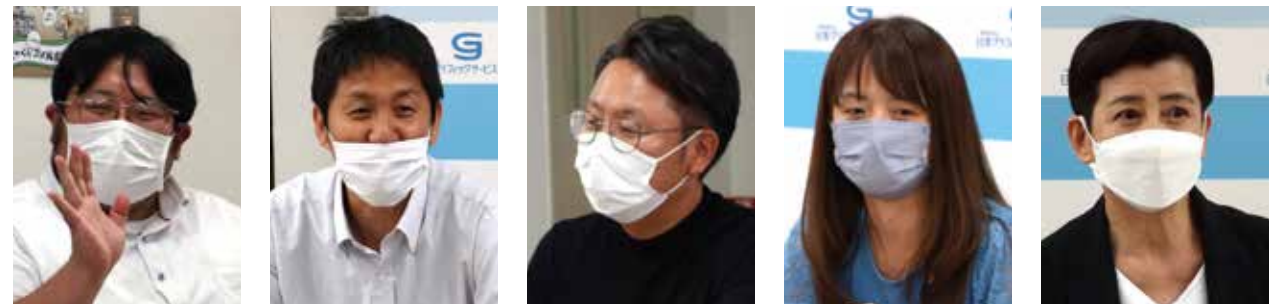
刷なら印刷に特化した話になるし、そうじゃなければ色々な幅広い情報になると思うので、各委員長がどういう形で進めようとしているのかという情報をもらう必要があるんじゃないかと思っています。

■本村 そういう情報は非常に欲しくて、各委員会にお願いしています。業態進化委員会は特に紙のアウトプットにこだわってはいません。生産性向上委員会や MIS 研究委員会は内部のことからスタートしているのでもまずは印刷寄りの話になっています。例えば、地域活性化、生産性向上とかそれぞれやるのではなく、地域活性化のために自社の生産性を向上しなければならぬし、生産性を向上したら単品損益も知っていないと正確な利益の把握ができないとか、すべてがつながっていると思います。

業態進化委員会は他の 3 委員会の先を行く話になっています。三宮さんが言うように、今回は印刷のことだな、これは印刷業界じゃなくても行ける話だというのが出てくると思います。今、生産性向上、MIS、地域活性化は会員企業に呼び掛けてモデルケースを作ったり、市場を生み出そうとしています。モデル企業が実際にジャグラコンパクト DX のツールを使って半年、1 年でどんな風変わったという情報が発信されていくと思いますけど、こちらとしては今からある程度準備をしておかなければならないです。

■瀬尾 今の話を聞いていると会員外も印刷にとらわれていない気がします。地域活性化の事例はどの業種でも参考になりますし、MIS 等の核もひととけば、数字の見える化をしたければジャグラ問わぬの情報になると思います。書き方の問題ですね。印刷業としての目線で書くというよりは業界を問わない記事の書き方、動画の出し方をすれば、会員内外に使えるものになります。ひいては会員拡大につながるので広報のメリットがそこに見えてくるんじゃないでしょうか。

■東海林 根本的なことですが、突き詰めると実はジャグラ BB である必要もないんですよ。YouTube で



左から野口委員、瀬尾委員、小澤委員、佐藤委員、影山委員



もいいんです。そういうことも考えていくべきだと思います。ジャグラ BB はあくまでも会員のためのものですから。

■本村 広めることに関しては YouTube の方が断然いいと思います。ジャグラが今こんなことをやっているというのを会員外に自慢する必要があります。それで異業種が入りたいと言ってくれば、それは各支部で判断します。とりあえず広報は会員に情報を落とし込み、会員外には知らしめていくことが大切だと思います。

■安達 会員の枠は各支部の規約の範囲で決まっていますからね。本部がこんな考え方ですということを発信すればそれに合わせて支部も考えていくと思います。昔は支部で協同組合っているのがあって、そこで仕事を受注していたというケースもあったから業種を制限していたところもありますし。

■本村 会員増強も何をネタにすればいいか皆さん悩まれていると思います。秋田はその点、プライバシーマークで声をかけているっていうのがすごいですね。

■東海林 年配の世代の頃は一般印刷・軽印刷っていう括りがありましたが、それがやっと外れてきました。結果としてここ 2、3 年、工業組合からジャグラに移ってくる人もいます。取った・取られたではなくて、それぞれがやっていることに共感できるか、できないか

だと思うんです。

■野口 そういう意味ではメリットをはっきり示さなければなりません。機関誌を読んでいるのはオフセットに特化した印刷の情報しか入っていないで、シールに関する情報が載っていません。だから読んでも「そうなんだ」で終わっちゃいます。こうしたオフセット印刷業以外の会員も食いつく手法やコンテンツが考えられれば、広報の意味合いもでてくるんじゃないでしょうか。

■本村 ジャグラには印刷の人たちばかりが入っているものだったら、実は違うんですね。

■谷山 うちなんかも製本業なので機関誌ってこんなものかなっていう見方が強いですね。面白味という部分ではあれですけど、でも一般的に考える機関誌だになっているのが感想です。でも今、話を聞いて、内外の話もそうだし DX もありますが、会員に浸透させてもっと広げることが必要で、瀬尾さんや東海林さんの話を聞いていると小さな枠ではなく、広げていった結果、内外に響けば良いといった感じでしょうか。FACE なんかは異業種交流会に近くなっていて、「ここに入れば何か面白いことやっているんじゃないの？」みたいなノリなんですよ。FACE は当初は経営者向けでしたが、徐々に社員も入ってきたこともあって、社員向

えていく方がいいんじゃないかなって考えています。

■谷山 広報の活動をますます色々な方向も含めて考えなければならないと感じました。ジャグラ BB や機関誌もそうですし、ジャグラを認知させることもトータル的に広報が今までと違う動きをしないと認知活動もできないでしょうし、コンテンツの充実も図れないと思います。なんか大変そうですね（笑）。こんなタイミングで参加させてもらってありがたいと思っています。本当に色々なことをやっていきます。

■野口 全会員の 8 割に認知してもらい、その上でさらに会員外に発信できればそれなりに全国にジャグラの話も伝わってくると思います。岡本会長の熱い想いを伝える橋渡しが広報の仕事であるなら、やれることはそれこそ何でもやらなければならないんだろうな。SNS もそうだし、何でも使えるものは使って、とにかくまず知ってもらうことが必要だと思います。せっかく全国からメンバーが集まってきているので、全国の特性を生かした何かできることを今後皆で考えたいです。2 年かけて少なくとも土台を作っていければと思います。

■佐藤 もっと会員外に広めたいというのは私も思っていて、広まった上で会員が増えなくても、一般の人がジャグラを知ること「あのジャグラの会員ですか？」って言ってもらえるような看板になればいいなと考えています。

ちなみに社員さんも機関誌を読んでいる会社ってどれくらいありますか？うちも回覧していますが、なかなか読んでもらえなくて、どうしても読んで欲しいところは付箋を貼ってやっと読んでもらえる感じです。もっと経営者だけじゃなくて社員さんが読みたくなるようなことも考えられないかな。会員外に向けてもそうですが、会員の中でも需要を広げていくために頑張ります。

■三宮 広すぎてどうまとめていいか分からないですけど（笑）。個人的にはこの委員会は委員長が好きにしていっていると思うので、委員長のカラーがでるといいです。皆さんから意見はもらってその中で取捨選択した方が面白いものができるような気がします。全部いっぺんには難しいと思うので、まず委員長がこれをやろうと方向性を決めて皆で注力していければと思います。

■小澤 広報としてやるべきことはたくさんあるけど、それをやろうとすると事務局の負担が増えていく

けのセミナーなどテーマを広げて設定していくなど、参加者の構成で少しずつ変わってきています。あまりもう印刷という感じではないです。ビジネスをしていく上で何が必要かとか、印刷にとらわれている感じがしないですね。

先ほどの話にあるように内容的に面白いものがジャグラ BB や機関誌にはすでにありますから、機関誌自体に特殊な加工をして手に取った時の違いを感じてもらおうとか、このタイミングで色々皆で考えて 1、2 年かけて行動していければいいと思います。

■小澤 機関誌に関しては専門的な情報がある程度あるべきだと思います。異業種に入ってもらって興味を持ってもらうのはいいですが、機関誌は会を代表するものでなければならないと考えています。そうするとジャグラコンパクト DX 事業に関していえば、岡本会長をもっと押し出した方がいいんじゃないでしょうか。例えば、会長と著名人の対談をしてもらおうとか、インパクトのある人と話してもらえば記事としての面白さもでてくるのではと思います。仕様自体も少し硬いですね。せっかく印刷業なので遊びを持った加工もすれば異業種にアピールできるのではないかなと思いますが、何せ予算がね……。

■全員 （笑）

■小澤 やるとするなら広告も取らなければならない。そして予算を増やしてやっていくのも広報事業の一つです。あとジャグラ BB の「BB」って何の略だろうっていうのもありました。会員には浸透しているので僕らの中ではその名称でもいいんですけど、外部の人に説明するとき、ヤフー BB はもうなくなったので「何だろう？」と思われるかもしれませんね（笑）。

ジャグラの広報、それぞれの希望

（編集部） 今後、広報委員会がどうあるべきか、どのような委員会にしたいかお聞きします。

■東海林 自分の希望ですが、ジャグラコンパクト DX は会員、業界向けだと思います。それを通じて内々に発信していくじゃなくて、会員外に向けて発信していきたいです。ジャグラっていう括りではなく、印刷業界ってこんなこともしているんだよって視点です。あとは一般の方とかに印刷業界の可能性を見せる時じゃないかなと思っています。その流れで情報を把握していき、ジャグラがやっていることを他の人に伝

と思います。いい情報とかいいコンテンツを頑張って作ってきているけど、それが届ききっていないなど感じる場合があります。広報は会員向けのポータル的なサイトを用意して、SNS で発信すると目につくんじやないかなと思っていますが、それをやろうとすると事務局の負担が増えるのでうまいやり方がないかなと感じました。

■瀬尾 私も今、何かを変える時に大変なのは事務局なんだと思います。それは非常に懸念していて、変えるためのツケが事務局にいくことは避けなければならない。そんな中で広報委員会がこの先どうあるべきかを考えた時に、今の機関誌は長年工夫を重ねて完成されています。その書き方をひねって色んな業種の方が読んで楽しめるものに切り口だけ変えれば良いと思っています。

機関誌は一方通行の情報発信としても今後必要です。ただ、積極的な方であれば「あの時のあの記事を読みたい」といったときに検索機能のあるポータルサイトがあると助かるので、ポータルサイトの構築は賛成です。なんならスレッドみたいな形式で、検索できるようにして、積み重ねていき、積極的な人がどんどん広報委員会のメンバーになってくれるような仕組みも面白いかもしれない。考え方としては Wiki や WordPress のように他の人も執筆者として入ってもらうようにすると、一人で考えるよりも色んな知恵を集められるんじゃないかと思っています。

YouTube の話がありましたけど、会員外で PR 的な側面が強いものは YouTube に載せつつ、会員内サービスをジャグラ BB に一元化し、教育的側面のより強いものに集約するのはチャレンジする価値があります。

■安達 個人的に考えると機関誌も全会員が中を見ていないと思います。良いコンテンツはあるので、見てくれない人が見てくれるようになるような工夫をしたいです。あとは会長や委員長と直接ディスカッションしてみたいっていうのもありますが、色々考えると重責でがんじがらめになるので、大変なことは本村委員長をお願いします（笑）。

■影山 皆さんの話にあったように、会員企業の中にはシール・ラベルの印刷や紙器パッケージ、Web、コールセンターなどの仕事をされている会社もあると思います。このような会員企業も含め、営業さんがお客様に届けてもいいくらいの小冊子が毎号入っていれば、営業の方に手に取ってもらえたり、その先のお客様に

も印刷って面白いねって思ってもらえるツールにもなり、社員の皆さんにも活用してもらえないかなと思います。

ジャグラ BB や Web の連携は、マーケティング的な視点でターゲットを決め、ポジショニングを明確にすれば、何をすれば良いのかという優先順位が見えてくるのではないかと感じました。

■本村 今日、こうして皆さんと話せてよかったです。やっぱり広報に限らず委員会是这样い議論があって当然で、ここからどんなことも始まると思います。自分の想いを話すことで、徐々に一つにまとまっていく。そうすることでいい活動ができると僕は思います。今日のご意見は今期の宝で、これからもこうした議論が続けられる委員会でありたいです。

人に伝えるというのはもともと僕らの仕事でもありますし、周りの人たちに僕らはモノ・コトを伝えていかなければなりません。この活動はきっと自社の勉強にもなるはず。色んな人が広報に入りたいと言ってもらえるようなものをこのメンバーで作っていきましょう。

やりたいことはどんどんテーブルに挙げてもらって、どう形にするかを皆で考えます。それを全国の会員に伝えていくという流れを2年間でやっていき、これから5年、10年、ジャグラの広報が同じ想いでつながって、その時々々の想いがさらにその場で共有されて、機関誌やジャグラ BB、YouTube といったツールになっていく、新しい広報委員会の始まりを皆で作っていきましょう。

■神山 広報はジャグラ会員のためのサービスであることを忘れてはならないです。ジャグラは会員の皆様からお金をいただいて運営しているので、広報を通じて情報を発信していくことはすごく重要です。

今日、話を聞いていて、だんだん世代が交代してきたのを感じました。私なんかは機関誌が届くとホッとするんです。機関誌を読んで色んな方の原稿を読むことで自分の立ち位置が分かってくるのでほっとします。そうした年代もまだいます。そんな中でジャグラ BB には色んなコンテンツがあります。地方でも色んな情報を取れるのがジャグラ BB です。刺激を受けることもあります。YouTube になるともう私では分かりません。これから新たな広報委員会として、思い切った形で進めていってください。

8月19日、東京・ジャグラ会館にて実施

ジャグラBB

JaGra Broadband Contents Service

HOTNEWS

2022年10月号

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

JaGraBBで豊かな時間を 広報委員会が選ぶ おすすめ番組ラインナップ!!

次は…

ARのしくみ

いまさら聞けない!?
印刷業のDX基礎用語
5)ARのしくみ
VR用途・事例イメージ

QRコード

カテゴリ > 教育と技術 > DX・総務経理・その他

今回は…

xR (VR・AR・MR)

いまさら聞けない!?
印刷業のDX基礎用語
4) xR (VR・AR・MR) とは何か

QRコード

カテゴリ > 教育と技術 > DX・総務経理・その他

▶ 最新情報はWEBをチェック

DXがもたらす
テクノロジーキーワード
DXを生み出す技術キーワード

AI
IoT
5G
LIDAR
xR

いまさら聞けない!?
印刷業のDX基礎用語
3) AI事例

QRコード

カテゴリ > 教育と技術 > DX・総務経理・その他

激甚災害を越えて

ジャグラ東北地方協議会第62回総会・福喜大会
東北セミナー第一部
2022年5月21日(土) 14:00~

【東北地協主催セミナー】(第1部)
激甚災害を越えて
一災害と闘った歴史—

QRコード

カテゴリ > セミナー > 経営者向け

0.5歩先の実践 時代を彩る印刷業のチカラ

へまをこらえて、未来を拓く印刷業のチカラ

【東北地協主催セミナー】(第2部)
0.5歩先の実践
時代を彩る印刷業のチカラ

QRコード

カテゴリ > セミナー > 経営者向け

工場探訪 株式会社オズプリンティング

工場探訪

QRコード

カテゴリ > ニュース > 工場探訪

2022個人情報保護セミナー JIPDEC「プライバシーマークにおける個人情報保護マネジメントシステム構築・運用指針」の解説

QRコード

カテゴリ > 経営 > 個人情報保護

Web新時代のPRツール『動画』の活用方法を考える (東京グラフィックス教育・技術委員会セミナー)

QRコード

カテゴリ > BBネットワーク > 支部・地協発信情報

「電子帳簿保存法改正」 何を・どこから・どう始める!?

電子帳簿保存法改正
「何を・どこから・どう始める!」
猶予期間にやるべきことを学ぶ
(東グラ教育技術委員会セミナー)

QRコード

カテゴリ > セミナー > 経営者向け

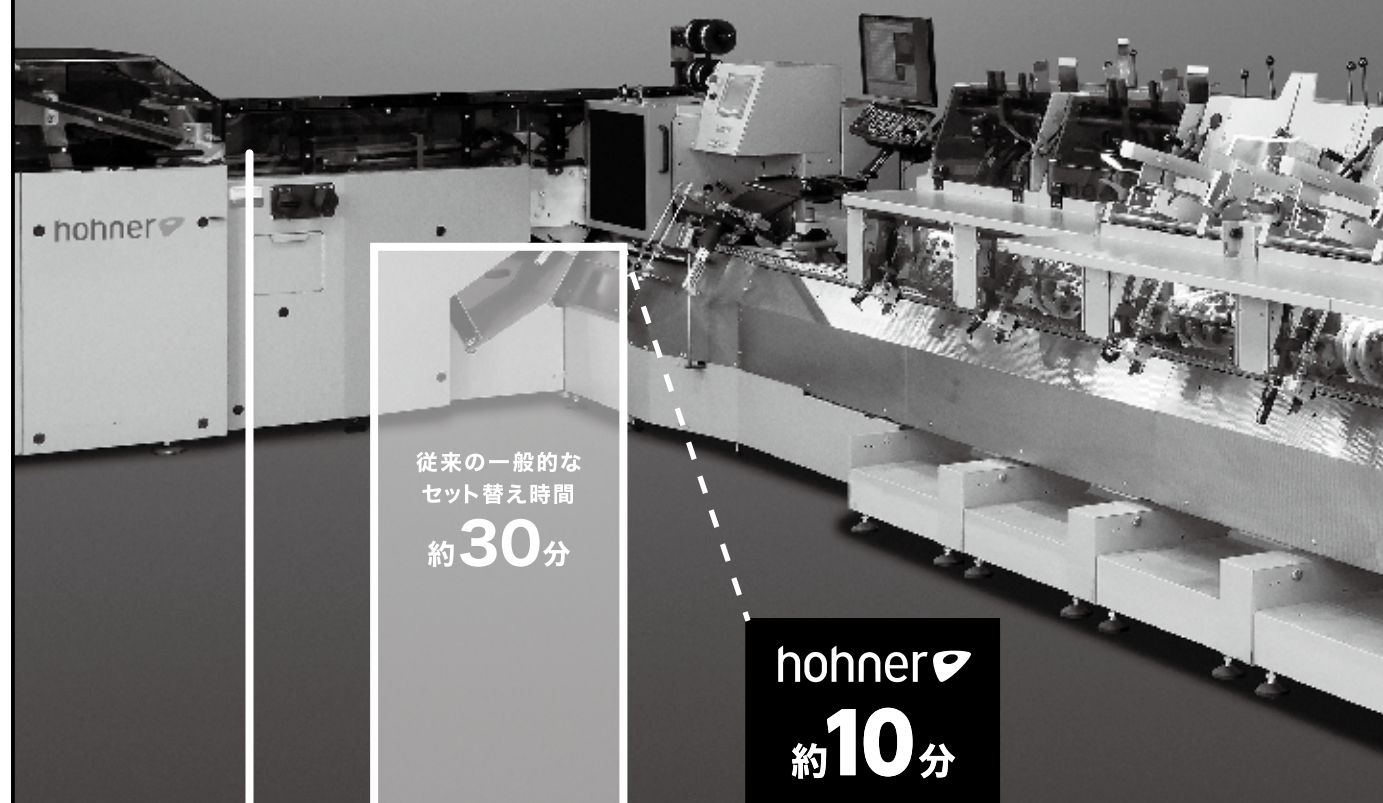
FUJIFILM

Value from Innovation

セット替え時間、3分の1。

欧州販売シェア2年連続No.1※の実績を誇る、独ホーナー社製中綴じ機。
中綴じ製本の生産性を劇的に高める、次世代の世界標準。

※当社調べ。



中綴じ機のセット替え時間の比較

NEVER
STOP

FFGS POSTPRESS SOLUTION

ホーナー社製 中綴じ製本機 HSBシリーズ

■実機見学をご希望の方は、担当営業へご連絡いただくか、
QRコードから“ホーナー社製中綴じ機見学希望”と記入してお申し込みください。



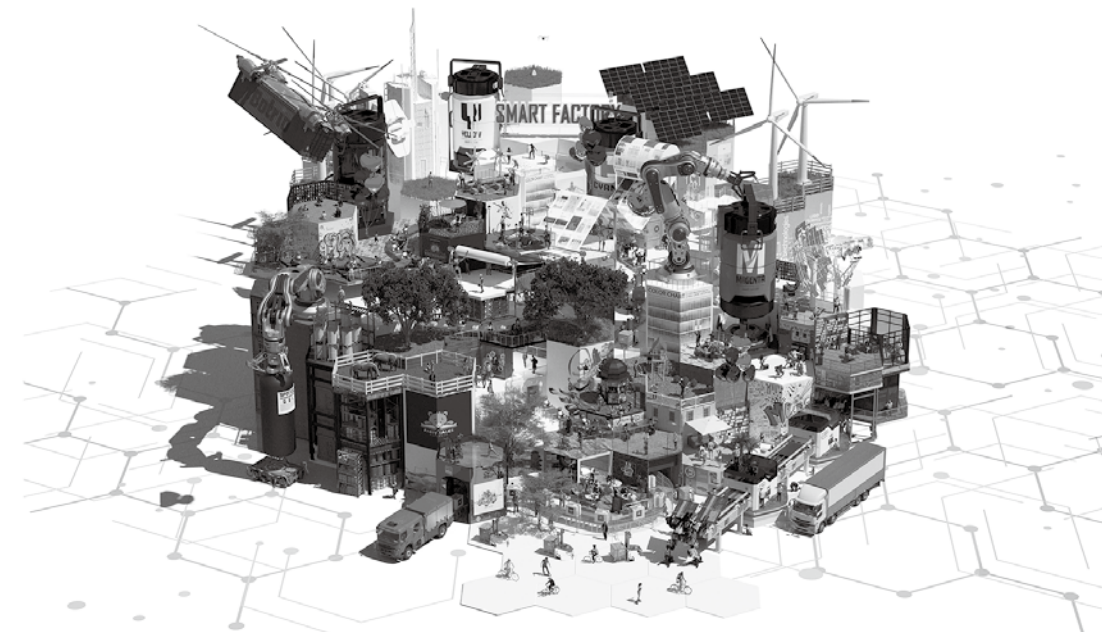
ホーナー社中綴じ製本機 国内総代理店

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

IGAS2022
INTERNATIONAL GRAPHIC ARTS SHOW
11.24 (THU) - 28 (MON), 2022 | TOKYO BIG SIGHT [東京ビッグサイト]

SMART FACTORY IGAS2022

2022.11.24 (Thu) - 28 (Mon)



印刷産業における Smart Factory の実現

ニューノーマル時代に突入し、仕事への向き合い方が重要なファクターへと変わろうとしています。
その解決策としてデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展に大きな期待が寄せられています。
過去からの継承ではなく、今のインフラや技術で実現できるDXを紹介します。

IGAS2022開催期間中(5日間)、20セッションを超えるタイトルで
印刷産業の未来の形を提案します

IGAS共同企画 SMART FACTORY ZONE

会 期: 2022年11月24日(木)~28日(月)

会 場: 東京ビッグサイト(東京国際展示場)・東6ホール

主 催: SMART FACTORY IGAS2022実行委員会

<https://smartfactoryzone.com>

詳細はこちら



※本イメージは計画提案時のものであり、変更となる可能性があります

協 賛: キヤノンマーケティングジャパン株式会社 / ダックエンジニアリング株式会社 / 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
株式会社JSPIRITS / 株式会社小森コーポレーション / コニカミノルタジャパン株式会社 / 株式会社ミヤコシ / リコージャパン株式会社
理想科学工業株式会社 / リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社 / 株式会社SCREEN グラフィックソリューションズ
協 力: 株式会社バリューマシーンインターナショナル
運 営: ホリゾン・インターナショナル株式会社

IGAS2022開催へ ジャグラーも出展します(ホール6-No14)

11月24日(木)～28日(月) 東京ビッグサイト

国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展 IGAS2022
が11月24日(木)から28日(月)までの5日間、東京ビッグ
サイト東展示棟で開催されます。ジャグラーも独自ブース
を構え、全国から見学に訪れる皆さんをお迎えいたします。

×

今回のテーマは『Venture into the Innovation!—新
たなイノベーションへの挑戦—』。会場では、印刷やクロ
スメディア等の最新技術、サービス、ソリューションの変
革、そして新しいビジネス創出を出展各社が提案します。
既存印刷需要が減少し、コロナ禍でビジネス環境が大きく
変動する中、単に機資材の情報を得るための展示会ではな
く、各社の課題解決や新たなビジネスモデルが示される場
となります。

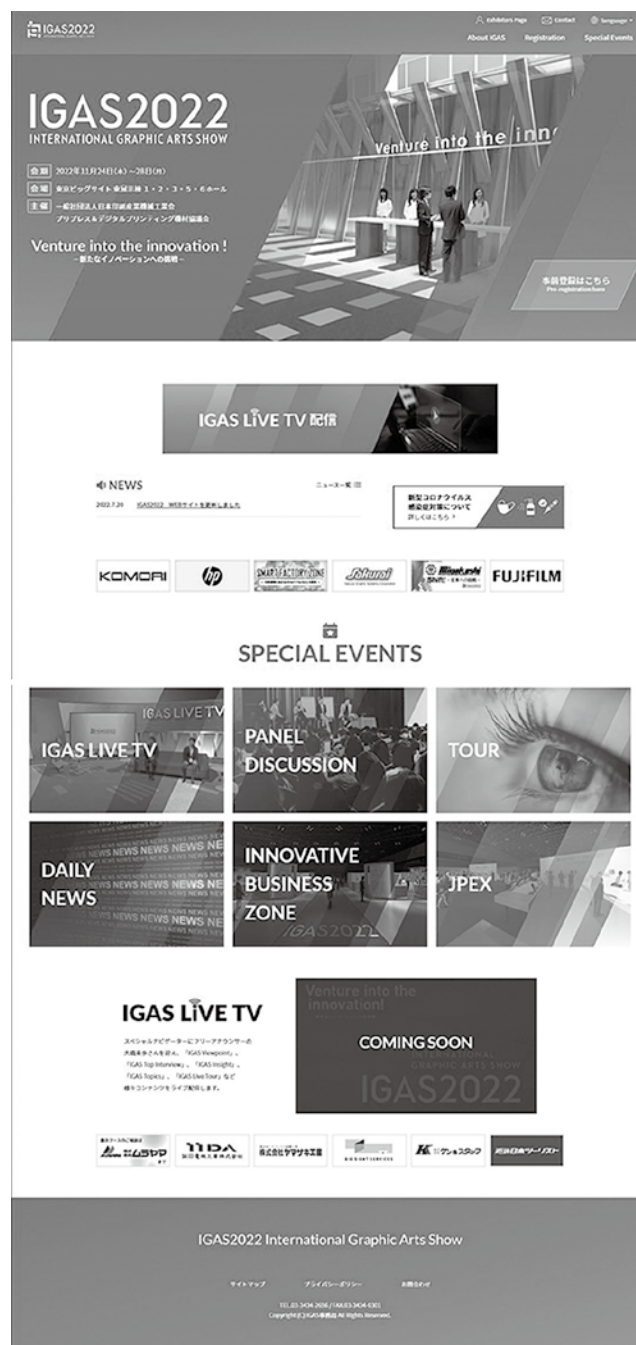
業界団体では会期中、(一社)日本印刷産業連合会が傘
下10団体のPRとコラボ展示、活動成果の紹介ブース(JAPAN
PRINTING EXHIBITION)を設けます。

10団体のPRブースは「Change Together」をテーマに、
各団体の設立趣旨や特徴、活動内容、挑戦していることを
パネルで紹介します。

コラボ展示では、大日本印刷と武蔵野美術大学の学生が
共同した「ブックビジネス・Re デザインプロジェクト 未
来の読者をつくる仕掛けづくり」で提案されたアイデアを
もとに、印刷業界の技術を合わせ、次世代印刷人に向けて
本の魅力を発信します。ジャグラーからは、緑陽社さん(東
京・三多摩)が参画し、“本がない本屋の空間”演出で展
示物の制作を進めています。

また、ジャグラーも独自ブースを展開します。現在、岡副
会長をリーダーに展示を企画しています。全国から見学に
訪れる皆さんを迎えるサロンのようなイメージで設営し、
ジャグラーコンパクトDXやジャグラーBB、ジャグラーコンテス
トなどをご紹介します予定です。ジャグラー会員の皆様も
IGASご来場の際は是非、ジャグラーブースにお立ち寄りく
ださい。

展示会の詳細はIGAS2022ホームページをご覧ください。
<https://www.igas-tokyo.jp/2022/f3/>

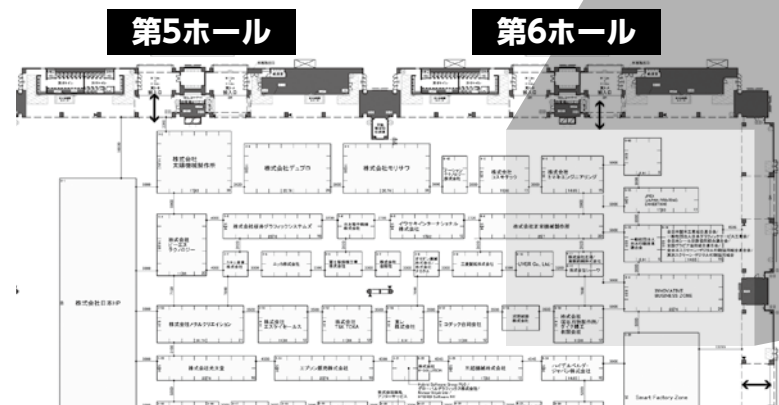


IGAS2022 開催概要

会 期 11月24日(木)～28日(月)
10時～17時(初日のみ11時～17時)
会 場 東京ビッグサイト東展示棟
主 催 (一社)日本印刷産業機械工業会
プリプレス & デジタルプリンティング機材協議会



日印産連 & ジャグラーブースは
第6ホールです



お知らせ

年賀状商戦の準備はお早めに 卯年・年賀状印刷見本帳が完成！ データがダウンロードできます

年賀状デザインコンテスト委員会

年賀状デザインコンテスト委員会(尾形文貴委員長)が
実施した「2023年 卯年・年賀状デザインコンテスト」
の入選作100点を本誌8月号でご紹介しましたが、そ
れらの作品で構成した「年賀状印刷見本帳」がこのほど
完成！ 入賞データとともに、下記専用サイトにてダウ
ンロード可能[※]となっています。そのまま使うもよし、自社
オリジナルデザインを組み込んでカスタマイズするも良
し。ジャグラー会員は無料で年賀状商戦にご活用いただけま
す。準備はお早めに！

※ダウンロードにはID/PWが必要で、8月20日に全会
員宛にFAXしています。お手元がない場合はジャグラー
事務局までご連絡ください(電話 03-3667-2271)。

<https://www.jagra.or.jp/nenga2023/>

会員は無料



年賀状&喪中はがきの店頭ポスターも
用意していますのでご利用ください



RISAPRESS Color 7100

COMPACT & INTELLIGENT

コンパクトな設計ながら多才な生産機として、自動化・省人化・スキルレスをさらに強化。

お客様の業務効率化や受注量増加、収益拡大に貢献します。

獲得ジョブの 増加

多彩な印刷業務の獲得を
支援し顧客の
ビジネス拡大に貢献

ワークフローの 高速化

顧客業務効率向上を支援し
印刷業者の
収益拡大を実現

安心と 信頼感の提供

不良品をなくしダウンタイムを
削減することで
信頼性向上に貢献

20th
Anniversary

おかげさまでRISAPRESSシリーズは発売20周年を迎えました

オンデマンドプリンティングシステムの詳細はこちら www.morisawa.co.jp/products/pod/



株式会社モリサワ 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel:06-6649-2151

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

エジソンと堀井新治郎の交流を示す手紙発見 東近江市にガリ版の歴史を辿る貴重な資料

東近江市／ガリ版伝承館

ミメオグラフの発明者であるトーマス・エジソンと、明治期に謄写版を発明した堀井新治郎氏の交流を示す手紙が、滋賀県東近江市のガリ版伝承館（堀井家旧宅）で見つかりました。堀井新治郎氏（初代）は、エジソンが発明したミメオグラフに刺激を受けて、国産初の謄写版を製造販売したと言われていましたが、これまでそれを裏付ける資料が無かったとのことで、今回発見された手紙は堀井新治郎氏とエジソンの親交がうかがえる貴重な資料となっています。ジャグラのルーツともいえる謄写版発明に関わるこの歴史的な資料の発見について東近江市の広報資料よりご紹介します。

×

エジソンから堀井氏へ誕生日祝いの礼状

東近江市は、2021 年（令和 3）4 月からガリ版伝承館（蒲生岡本町）の収蔵資料の整理を進める中で、このほど発明家エジソンから堀井新治郎にあてた手紙（礼状）を発見しました。1922 年（大正 11）2 月 16 日付けの礼状は、アメリカ合衆国ニュージャージー州在住のエジソンから東京の堀井新治郎宛で、自身の 75 歳の誕生日を祝ってくれたことへの感謝が述べられています。（p17 写真）

初代堀井新治郎（元紀）は、1893 年（明治 26）3 月、簡易印刷器開発のため海外の印刷事情を視察する目的で渡米し、シカゴ万国博覧会でエジソンが発明、A. B. ディック社が実用化したミメオグラフに出会いました。帰国後、これを参考にして国産で初めて誰もが簡単に印刷できる、安価な謄写版を製造販売し、日本印刷史に革命を起こしました。

今回発見した礼状は、堀井新治郎とエジソンの交流がうかがえる貴重な資料であり、他にもエジソンの病氣回復を祈る電報や、訃報に際して送ったお悔やみ状など、計 8 通のエジソンに関連する書簡・電報が確認されています。

同市では来年度、市内博物館でガリ版伝承館所蔵資料の調査結果を紹介する特別展を予定しています。

エジソンからの手紙（礼状について）

1. 堀井家資料群

現在約 4000 点の資料を確認。その多くは堀井謄写堂の経営資料、堀井家の歴史を表わす資料、そして堀井製の謄写版のほか、商品開発のために参考にしたと思われる謄写版やガリ版印刷の資料となっています。堀井家所蔵の資料群の中には、黄土色の表紙の大きく分厚い台帳が約 280 点あり、これらは、堀井謄写堂あるいは、堀井家に関するさまざまな文書が分類されています。

台帳には事務、会計、業務、店員、取引重要書類、印刷見本、図案集、家政、財産、村方、社交、感状、慶事、仏事、雑類、系統、家族、分家、親戚などの表題がつけられ冊子ごとに丁寧に糊づけされています。

【エジソン関係資料の所収】

①エジソンからの礼状 1 通

「感状 1」（41.0cm × 58.5cm、400 頁）所収

②その他エジソン関係書簡・電報 7 通

「社交 2」（41.3cm × 58.7cm、400 頁）所収

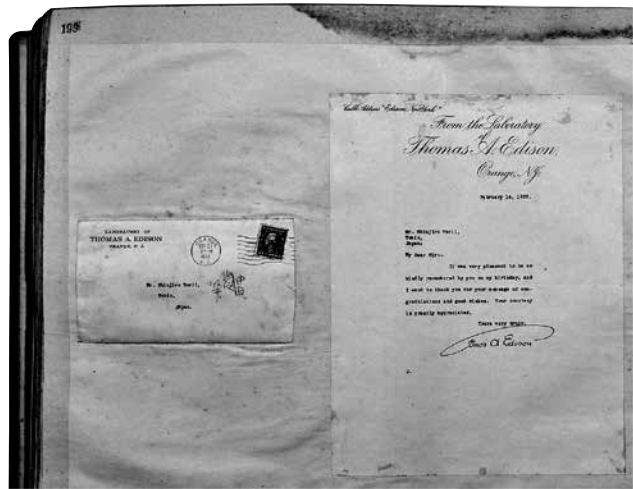
2. 礼状の背景

【エジソンの 75 歳の誕生日祝賀会の開催】

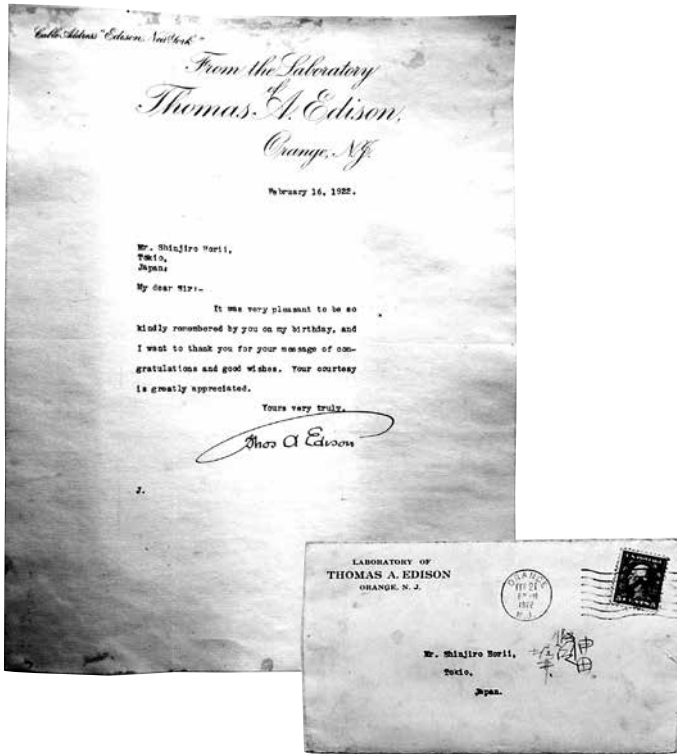
1922 年（大正 11）2 月 11 日、東京で「エジソン翁第 75 回誕辰祝賀会」と題し、発明王エジソンの 75 歳の誕生日



東近江市のガリ版伝承館（撮影・岩根順子氏／滋賀県支部）



エジソンと堀井新治郎の交流を示す手紙
（東近江市「ガリ版伝承館」所蔵）



を祝う会が渋沢栄一を会長として盛大に開かれました。電気学会・照明学会・啓明会・蓄音器商組合・活動写真同業者等、有志団体の賛同を得て、日本工業倶楽部において開催されました。来会者は 224 名。

同会は、発明を奨励するため、1921 年（大正 10）帝国発明協会の発案で、学界・実業界・官界・新聞社・有志と帝国鉄道協会などによる祝賀会の開催を企画。国家親善を目的とした国際記念事業としての位置づけでした。

当日は、祝賀会の会場からアメリカ合衆国ニュージャージー州オレンジパークのエジソン宛に電報で祝辞を送っています。（参考：渋沢栄一記念財団 デジタル版『渋沢栄一伝記資料』

3. 堀井家に残されたエジソンの礼状

堀井家に残された 1922 年（大正 11）2 月 16 日付けの

エジソンの礼状は、上記祝賀会に堀井新治郎が参加、あるいは賛同し、エジソンの 75 歳の誕生日に祝辞を送り、その返礼としてエジソンから送られたものと思われます。

エジソンが発明したミメオグラフに刺激を受け、国産初の謄写版を製造販売した堀井新治郎とエジソンの親交がうかがえます。

＜上記の根拠＞

①堀井がエジソンから受け取った礼状と同文面の礼状を、化学者・高峰譲吉が所持している。高峰はエジソン宛の手紙のコピーを保存しており、東京で開催されているエジソンの祝賀会に賛同し、祝辞を送っている旨が記されていた。

②『渋沢栄一伝記資料』にエジソン祝賀会開催について会員に広報している記述がある。堀井新治郎は発明協会の会員であり、この情報を得ていたと考えられる。

新ガリ版ネットワークのご紹介

1994 年（平成 6）9 月、「ガリ版の 100 年」の展覧会・シンポジウムが東京経済大学で開催されたのを契機に、ガリ版愛好家たちによって『ガリ版ネットワーク』が東京を拠点に発足。「ガリ版展 98」（1998 年）、「本の街のガリ版展」（2004 年・東京神田）を主催。2007 年（平成 19）3 月、事務局スタッフの高齢化に伴い、13 年 6 か月の活動に幕をとじる。2008 年（平成 20）9 月、ガリ版ネットワークの活動を引き継ぐかたちでガリ版伝承館（滋賀県東近江市）に拠点を移して『新ガリ版ネットワーク』を発足。

【活 動 内 容】 ①不要となったガリ版器材等を収集・必要とする人々に頒布・提供、②散逸・消失されつつある器材・印刷物・孔版美術品などの史資料の収集、③ガリ版関連情報の収集と提供、④ガリ版関連の資料館・美術館・技術者・美術家などとの交流と協力、⑤ガリ版に関する相談、⑥孔版作品などガリ版関連グッズの販売、⑦ガリ版器材等の貸し出し、⑧謄写版画家の活動支援。

【ガリ版体験】 滋賀県東近江市の「ガリ版伝承館」ならびに「がりばん楽校」で、ガリ版の体験ができます。60 分の体験をはじめ、様々なコースが用意されています。ご興味ある方は、新ガリ版ネットワークホームページ（<https://gamo-gariban.com/>）をご確認のうえ、お問い合わせください。

RICOH BUSINESS BOOSTER、始動。

2022年。リコージャパンは、新たな舵を切ります。

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、

印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動

『RICOH BUSINESS BOOSTER』を開始します。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、

時には共創活動を通じて新たな事業を生み出しながら、

それぞれの解決策を導き出していきます。

印刷事業者の“真”のパートナーとして、

前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

リコージャパンの、次なる挑戦がはじまります。

SHOWA

ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション & リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

○研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
○会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

「ものづくり補助金」で

POD+デジタル加飾機を導入
箔押し印刷の内製化を実現！

第1回 (株)文成社(東京・文京)さんの事例



ジャグラ広報委員会では、印刷業界で活用が進んでいる2つの補助金「事業再構築補助金」「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（通称ものづくり補助金）」について、ジャグラ会員の採択事例をご紹介します。取材を行うことにしました。

今回は、令和元年度補正・令和二年度補正 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 第8次で「新型コロナ時代のイベント体験価値を向上させる金箔印刷物の提供」の事業が採択された東京・文京支部の(株)文成社さんにお話を伺いました。

聞き取りは、質問事項を記した調査シートを送付して記入していただく一次取材を経て、後日、それを踏まえてZoomにて追加質問する二次取材という形で行いました。

事前調査

調査シートを利用した一次取材

Q1 企業のなりたち、背景、現状は？

当社は1949年（昭和24）4月、文京区音羽で西野知好がガリ版と呼ばれる謄写印刷業として創業しました。

1993年（平成5）10月には西野滋（現会長）を代表とし、1995年（平成7）名刺・ハガキ専用オフセット印刷機を導入、1998年（平成10）4月に株式会社として改組しました。2004年（平成16）の大判インクジェットプリンター導入に伴い、大判ポスターやスチレンボードパネルの受注も開始しました。2007年（平成19）には本格的なオンデマンド印刷も導入し、小ロット印刷にも対応。2009年（平成21）に国会議事堂内に衆議院支店を開設しました。



ものづくり補助金総合サイト（全国中小企業団体中央会）
<https://portal.monodukuri-hojo.jp/>

2020年（令和2）10月に田村勉を代表とし、現在に至ります。

弊社の顧客は、会長が東京藝術大学邦楽科出身ということもあり、邦楽演奏家の演奏会チラシやプログラムの印刷を各会派承っています。そのほか、名刺専用印刷機による、名刺・ハガキなどへのオフセット印刷が可能のため、同業者からの依頼もあります。

衆議院支店では、衆議院議員会館内のお土産販売店様と協業し、ポストカードやメモ帳の納入もしています。

大判インクジェットプリンターはUVプリンターなので、ポスター・パネルのほか、アクリル板やアルミ複合板へのダイレクト印刷も可能です。

Q2 まわりの環境、競合他社などの外部環境は？

弊社は長唄（邦楽）のチラシ・プログラム印刷などを承っていますが、新型コロナの影響で軒並み演奏会が中止になり、売上に大きく影響が出ています。同じように大判プリントも各種イベントや展示会の開催がなくなり、パネルやポスターの需要も減っておりました。

また、年賀状印刷も近年の年賀状離れの影響で件数、枚数共に減少傾向にあります。

Q3 補助金の具体的な計画を教えてください

弊社の主要お客さまである長唄演奏会や各種イベント開催時において、チケットやプログラムに箔加工することにより、イベントの特別感や非日常感が向上します。また、特別感の演出により長い間手元に置かれ、イベント終了後も長期間にわたりイベントの体験、感動を思い出すことが

補助金採択企業インタビュー

できるコミュニケーションツールとして活用できます。

さらにこの導入した箔加工機は、箔加工の上からカラー印刷を追い刷りできるので、カラー箔の表現も可能となります。

今まで箔押し印刷物はコストがかかるため、なかなか手が届きにくいものでしたが、当社はオンデマンド加飾機を導入することにより、箔加工の印刷物を低価格、短納期、小ロットでの提供を目指し、各種イベントの体験価値を向上させます。

Q4 補助金を活用することで、どのような優位性（新規性）を持ちたいですか？

補助金によるデジタル加飾印刷機およびオンデマンド印刷機の導入により、小ロットの箔押し印刷物を短納期、低コストで提供することが可能になります。さらにオンデマンド印刷+箔押しにより、箔押しのバリエーション印刷という今まで実現不可能だった商品の生産も実現できます。

また弊社は、演奏会などのイベントへの印刷物も承っております。この技術によりプレミアム感のある印刷物を提供することができ、競合他社との差別化を実現します。

Q5 4について今後地域や業界にどのような効果をもたらせるとお考えですか？

弊社は地域の企業からも、イベントチラシなどの印刷案件を受注しています。この設備を導入することにより、低コスト・短納期・小ロットでの箔押し印刷が可能となり、地域のイベント等で使われる印刷物についても、箔押し印刷案件に対応できます。箔押しの豪華さ、高級感のある印刷、偽造防止機能を用いて、地域を盛り上げるイベントなどで活用することで、地域活性化、地域経済成長の牽引を目指します。

またすべての工程を内製化することにより、自社の利益率も上がります。

Q6 補助金の申請にあたって、苦労した点がありましたら教えてください

基本的にはコンサルタントの力を借りて計画書を作成しましたが、事業計画書作成にあたりターゲット及び数値目標の設定に多少苦労しました。

Q7 今後、補助金を申請したいと考えるジャグラ会員にアドバイスをお願いします

補助金申請は日々思っていた、「こんなことがしたい」ということを実現できるチャンスだと思います。もちろん採択後も実績報告などの提出書類も多くありますが、予定通りに物事が進んでいるかの確認になるのでそこも含め良い機会だと思います。

二次取材
Zoom 利用によるインタビュー取材

二次取材は Zoom を利用して 8 月 30 日に行いました。
×

■谷山 今回はものづくり補助金採択企業として、㈱文成社・田村社長にお話を伺います。田村社長と私は、東京青年部・FACE で一緒に活動してきた仲間です。インタビューは事前にご記入いただいた取材シートの内容に沿って進めます。まず、「企業のなりたち、背景、現状」について、改めて説明していただけますか？

■田村 弊社は 1949 年創業、1998 年に株式会社化しました。本社は文京区音羽にありますが、2009 年、国会議事堂内に衆議院支店を開きました。私自身は 2001 年に入社し、コロナの緊急事態宣言下の 2020 年 4 月に代表に就任しました。名刺、封筒、挨拶状印刷などを得意としており、主要顧客は小ロットの印刷に対応できない印刷会社さんで、そこから名刺などの小さな印刷物を受注しています。

また、三味線など邦楽の演奏家から、演奏会のチラシやチケットの仕事も承っていますが、コロナで多くのイベントが中止となり、仕事量にかなりの影響がありました。コロナ前は年商 1 億円ほどでしたが、コロナ後は 7500 万円ほどにダウンしました。今期は少し回復したものの、コロナ前の水準までは戻っていません。

大判 UV インクジェットプリンターを所有しており、イベント関係のパネルなどを弊社ホームページ経由でネット受注しています。こちらは全国から注文をいただいております。

■谷山 支店は衆議院支店だけですか？ また、社員構成について教えてください。

■田村 支店は衆議院支店のみですが、本社は 50 メートルほどの距離で、本社機能・印刷部・大判プリンター出力と社屋が分かれています。社員構成は、衆議院支店に常駐で社員が 1 名とアルバイトが 2 名、本社に制作 3 名、パート 1 名、印刷オペレーター 2 名、取締役 3 名といった構成

です。弊社には営業がないんです。お客様からの紹介や、邦楽の先生からの口コミで仕事が来ているので……。私自身も、デザインをやったり、納品しに行ったり、何でも屋です（笑）。

■谷山 大判出力機を導入した経緯は？

■田村 ちょうど 2004 年頃、エコパネルという再生紙を使ったボードが出始めました。その時、直接パネルに出力できるプリンターを見つけ、導入したのがきっかけですね。

■谷山 それで衆議院の仕事も請けるようになった？

■田村 はい、国会内で使う質問ボードなどをデザイン・出力するお仕事もいただけるようになりました。

■谷山 「Q 2：まわりの環境、競合他社などの外部環境」について、「御社の主要顧客である邦楽演奏家の世界では、印刷物にどのようなニーズがあるのでしょうか？」という追加質問が来ています。

■田村 邦楽業界は高齢化が進んでいて、大御所の先生からはずっと継続的に仕事をもらっていますが、若い先生は自分でネット通販を利用して印刷物を作ろうとする方が増えていますね。ただ、ネット通販では対応しきれない特殊紙を使った印刷や、折り加工がある場合は弊社に依頼が来ることもあります。

■谷山 競合するのはどのような会社ですか？

■田村 やはりネット通販ですね。価格が安いからです。

■谷山 では、「Q 3：補助金の具体的な計画」について、改めて説明していただけますか？

■田村 名刺や年賀状に箔加工するとき、以前はすべて外注に出していたのですが、2021 年にショーワさんの展示会でコニカミノルタのオンデマンド加飾機に出会って、それがすごく「刺さり」まして……。それで導入したいと思ったのですが、その時たまたまタイミングよく「ものづくり補助金」の申請を受け付けていたので、チャレンジしたという流れです。

■神山 今回の設備投資ですが、費用はどれくらいかかりましたか？

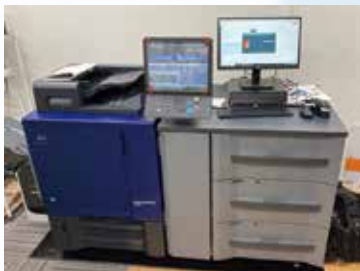
■田村 トータルで約 1000 万円です。ものづくり補助金で申請したのが、オンデマンド対応のデジタル加飾機で、トナーの上に箔が載るという仕組みなんです。そのオンデマンド機と加飾機、そしてユニークなかたちの名刺を作るため、A2 までのカッティングプロッターを導入しました。

■阿部 オンデマンド加飾機を導入すると、外注に出した時と比べてどのくらいコストダウンできるんですか？

■田村 たとえば、名刺 100 枚の箔加工を外注した場合、



文成社の田村社長



左から、同社設備の POD 機とオンデマンド加飾機（コニカミノルタ製）、カッティングプロッター（ミマキエンジニアリング製）



同社オフィスの様子



オンデマンド加飾機でトナーの上に金箔加工を施す



金箔加工された表彰状（左 2 点）と年賀状（上 3 点）
内製化により大幅なコストダウンを実現し、商品の付加価値もアップした



株式会社 文成社（東京・文京支部） 東京都文京区音羽 2-2-2 アベニュー音羽 111
代表者 田村 勉 従業員数 9 名（役員含む）
ホームページ <https://www.bunseisha.co.jp/>



版代だけで 7 ～ 8000 円、箔加工するのに 2 ～ 3000 円なので、ざっくり 1 万円くらいの売値になります。その点、オンデマンド機で内製する場合は版代がかからず、箔の原価を考えても 2000 円弱でできるので、半額くらいの料金で提供できるようになります。また、納期も早くできるので、時間的な面でもコストダウンできると思います。

■瀬尾 設備を導入してから、現在でどのくらい経っているんですか？

■田村 実はコロナの影響で納品が大幅に遅れて、全部設備が揃ったのは今年の 6 月になりますから、まだ数か月というところですよ。

■本村 営業がいないというお話でしたが、既存のお客さんに新しい金箔の機械を導入したお知らせや、新しい仕事を獲得するための活動はどうされているのですか？

■田村 お客様には、「文成ニュース」というお知らせを毎月末に請求書と一緒に送っています。そのニュースの中で紹介したり、ジャグラーや東京グラフィックスの活動の中で口コミで広げていくかたちです。きっと、本村さんが仕事を持ってきてくれるかなと思ってますが（笑）。

ただ、黒トナーの上に箔を載せるという仕組みなので、細い線など、デザインによって箔が剥がれやすくなってしまふことがあるんです。なので、仕事を広げていく前に、箔を載せる際の温度調整など、テストや試行錯誤を繰り返して、もう少しノウハウを蓄積する必要があると思っています。やはり、クレームが一番怖いですからね。

■谷山 ありがとうございます。「Q 4：補助金を獲得す

ることとどのような優位性を持ちたいですか？」という質問に対して回答をお願いします。

■田村 コニカミノルタの加飾機は、一度、箔を載せた上にさらに 4 色のトナーを追いつ刷りできるという特徴があります。他社の製品には、箔の上にさらに色を載せられるものはなかったんです。たとえば、銀箔の上にマゼンタを薄く載せるとピンクゴールドになったり、レインボーを載せるとレインボー箔のような効果が得られるというタイプなので、この特徴を活かしていきたいなと思っています。

また、邦楽の〇周年記念みたいな特別公演の時のチケットに箔を使うことで、公演の記念としてずっと手元に残しておきたくなるようなものを作りたいです。

■田中 箔の上にトナーを追いつ刷りできるということですが、デザインについても変更する点はありますか？

■田村 はい、そこも試行錯誤しています。箔を載せる時に、紙にも箔にも熱を加えるので、どうしても縮みまし、トンボで合わせようとしてもズれるんですね。なので、ズレが目立たないようなデザインになるよう工夫する必要があります。と感じています。

■田中 デザインしている方は何人くらいいますか？ デザイン見本は作っていますか？

■田村 4 名でデザインしています。デザイン見本としては、名刺、はがきを用意しています。それから、賞状などの受注も想定しています。一般的な鳳凰の枠ではなく、オリジナルの枠で賞状を作りたいといったお仕事です。

■田中 ゴールドトナーもありますが、金箔と違いはあり

ますか？

■田村 はい。本物の金箔を使うと、やはり断然見栄えが違いますよ。

■佐藤 「イベント主催者が求める印刷物を提供することで、競合他社との差別化を実現します」とのことですが、差別化を図るツールは印刷物だけですか？

■田村 そうですね、チラシが主ですが、大判パネルなどもあります。子ども食堂から請けたお仕事で、イベント用に普段の活動を紹介するパネルを作って欲しいというお話があったのですが、会場へのパネル設置なども含めてお手伝いしたことがあります。

■佐藤 イベント自体の運営なども視野に入れていますか？

■田村 基本的に、来た仕事は断らないので（笑）、できることは何でもやって行きたいと思っていますが、東京グラフィックス内にイベント運営を専門にやっている仲間もいるので、そういった方と協力してやって行くのもアリだと思っています。

■谷山 神山副会長から、「新規事業の中長期的な計画があれば教えて欲しい」との質問が来ていますが、いかがですか？

■田村 難しい質問ですね（笑）。値段を安く提供することで、箔をもっと身近に感じてもらいたいというのがひとつの目的でしょうか。数値的な目標では、名刺単体で考えると 2 ～ 3 割プラスになるといいのかなと思っています。

■田中 今回の設備導入は、新しい商品の開発と、外注費の削減もひとつの目的ですか？

■田村 そうですね、会社の規模があまり大きくないので、コストをかけずに内製化できるものは、どんどん取り入れて行きたいと思っています。また、美容室関係のお客様がいらっしゃるのですが、そこがブライダル関係のお仕事もやっているんで、その伝手で結婚式の招待状などを手がけられたらいいなと考えています。

■谷山 次に「Q 5：今後地域や業界にどのような効果をもたらせるとお考えですか？」という質問について、高級感のある印刷、偽造防止機能を用いて、地域を盛り上げるためのイベントなどで活用したいと回答いただいてますが、具体的な受注事例はありますか？

■田村 こちらは、今後の目標なので、現時点ではまだ取組中です。

■谷山 では、「Q 6：補助金の申請にあたって苦労した点」があったら教えてください。

■田村 申請書作成は、コンサルタントの協力を得ながら進めました。コンサルの助言は大きかったです。

■阿部 ターゲット設定に苦労されたと回答されていますが、具体的にどのようなことが大変でしたか？

■田村 自分が思っているターゲット設定が本当に正しいのか不安でした。さきほど、ブライダル関係の仕事も手がけたいと言いましたが、ブライダルをターゲットにするというのはコンサルからのアドバイスだったんです。自分だけでは思い付かなかったですね。そうやって、自分の考えをコンサルに投げかけて、意見を聞いてターゲットを絞っていったかたちです。

■安達 ものづくり補助金を申請しようと思ってから申請書が完成するまで、どのぐらいの期間がかかりましたか？

■田村 申請書作成にかかった期間は、トータルでだいたい半年ぐらいでしょうか。実は、採択される前に一度申請が通らず、二度目のチャレンジだったんです。一度失敗している分、じっくり計画を練ることができたのですが…。

■本村 申請書作成は、思った以上に大変でしたか？

■田村 書類作成自体はさほど大変ではないと思いますが、中身の文章の書き方、表現のしかたが難しいと感じました。また、採択された後も報告書を作成しなければならないので、提出期限の 1 ～ 2 週間前はバタバタしています（笑）。

■谷山 では最後の質問「Q 7：今後補助金を申請したいと考える企業へのアドバイス」をお願いします。

■田村 私の場合、ちょうど欲しい設備に出会った時に、タイミングよくものづくり補助金の申請を受け付けていたのでラッキーだったのですが、いままで漠然と仕事をしていて、日頃ああしたい、こうしたいと思っていても、改めて計画を立てるところまでは行かなかったんで、申請をきっかけに社員と一緒に計画を話し合う中で、共通認識を持てたことは非常に良かったと思っています。

■本村 私自身、補助金を申請したことがないのですが、設備を導入する際、そこに補助金を使おうという発想が浮かばない方もいると思うので、今回のお話は非常に参考になると思います。申請書作成にはそれなりの労力がかかることが分かりましたが、申請書作成を通して、改めて自社の強みや今後の計画を立てる機会が得られるというのも大きなメリットかもしれませんね。本日はありがとうございました。

「補助金採択企業インタビュー」は、今後、数か月に一度のペースでシリーズ化していく予定です。

業 界 の 動 き

ジャグラ

新旧支部長&副支部長で会員に挨拶回り 一緒にジャグラで頑張ろうと激励 宮城県支部

ジャグラ宮城県支部の大橋邦弘支部長・高橋正人副支部長・熊谷晴樹前支部長が、9月6日の昼から夕方まで、同支部会員各社に挨拶回りを行いました。大橋支部長からの報告です。

×

今回の挨拶回りの目的は、コロナ禍による受注減少と原材料の大幅値上げのダブルパンチに喘ぐ今だからこそ、私たちは会員の皆さんに『一緒にジャグラで頑張っていきましょう』と笑顔を届けたかったからです。

会員各社の皆さんからは、『これからも応援するから頑張っ
てね!』、『大変な時期にたいへんなお役目だけど、支部長これ
からもよろしく』、『熊谷さん、長い間お疲れ様でした!』、『3
人で挨拶回りってすごいですね。その意気込みだけで嬉しく
なってしまう』といった嬉しいお言葉!

同支部での会員訪問は、田端章支部長以来、本当に久しぶり
だったので、どんな反応となるか正直不安なところもありまし
たが、皆さんにすごく喜んでいただき、嬉しさと同時に期待の
大きさも感じました。

現在、ジャグラは会員の増強が大事な課題となっていますが、
私はまず会員社と協賛会員社に顔を出し自分たちの思いを伝え
『頑張りますからよろしくお願いします』と挨拶してくること
から始めました。

会員社の困りごとに耳を傾け、協賛会員社の要望を聞き、もし
退会の話が出ればすぐに駆けつけて寄り添い話を聞く。そう
いうことからジャグリストが形成されていくと思いますし、そ
れが遠回りのようでも、実は一番近い会員増強だと思う次第で
す。同業者組合の幹部というものは肩書をもらって喜んでいる
のではなく、仲間の縁の下での力持ちとして尽力すべきものと心
得ます。

なかなかコロナ禍からの脱却が進みませんが、コロナ禍でも



支部会員を訪問しました

できることはあるだろうし、高橋副支部長、熊谷前支部長、宮
城県支部役員の皆さんの力をお借りしながら『小さなことから
コツコツと』進んでいきたいと思います。

報告：宮城県支部長・大橋邦弘

ジャグラ

東京グラフィックスが創立 60 周年 式典・記念誌発行などを準備中 東京グラフィックス（東京地協）

（公社）東京グラフィックサービス工業会（原田大輔会長）
は 1962 年の東京軽印刷工業会設立から今年で 60 周年を迎えま
した。

×

創立 60 周年に際し、前年度から創立 60 周年記念事業実行委
員会（大瀧敏裕委員長）を立ち上げ、記念事業として式典なら
びに記念誌発行を予定しています。コロナ禍の影響が見通せない
状況ですが、創立 60 周年記念式典は 10 月 26 日、東京都文
京区のホテル椿山荘東京で催し、退職役員への感謝状贈呈や記
念講演会、懇親会などを企画しています。

ジャグラ

ミウラ折りのライセンス取得 製造から販売まで一手に 栃木県支部・㈱井上総合印刷

栃木県支部の㈱井上総合印刷（井上加容子社長）はこのほど、
「ミウラ折り」のライセンスを取得。自社ライセンスによる生
産から販売までの一括対応を可能にしました。

×

ミウラ折りは、大きなものを小さくコンパクトにたためる折
り方。元は東大名誉教授・文科省宇宙科学研究所の三浦公亮氏
が考案した地図の折り方で、対角線部を持って左右に引っ張れ
ば一瞬で広がり、一瞬でたためる技術となっています。井上総
合印刷さんの登録商標として、製造を含めたすべての事業を管
理されています。

◎ミウラ折りの特徴

①大容量の情報&ひと目でわかる！

A2 サイズをコンパクトにたためるミウラ折り。両面で A6 サ
イズ冊子 32 ページ分の情報を掲載可能。さらに開けば 1 枚の
印刷物として展開するので表面と裏面で見たい情報のページを
探す必要がない。

②破れにくい！

折り目が重ならず、少しずつ、ずらして折るため、頂点に負

業 界 の 動 き

担がかからず、丈夫で破れにくい。

③開閉が簡単！

コンパクトに折りたためるだけでは
なく、折りたたんだ一端を引くだけで一
気に開き、全体を見ることができる。

④持ち運びしやすい！

コンパクトに折りたためるので、ポ
ケットに入れて持ち運び、様々なシーン
で活用できる。

同社のミウラ折り公式サイトとサンプル
<https://miuraori.biz/>



業界団体

日経新聞朝刊へ意見広告を掲載 価格転嫁への理解呼びかけ 日産連&傘下 10 団体

（一社）日本印刷産業連合会とジャグラをはじめとする会員
10 団体合同で、このほど日本経済新聞朝刊全国版に意見広告
を掲載しました。

×

9 月 14 日付の日経新聞でエネルギーや原材料価格の高騰や
円安など厳しい経営環境が続く中、クライアントだけでなく、
広く消費者にも価格転嫁への理解を求めるべく、メッセージを
発信しました。広告デザイン、コピーに関しては、ただ窮状を

訴えるだけでは、業界のイメージを損ね、若い人たちが入って
こなくなることに配慮し、価格転嫁への一定の理解を求める
とともに、「Change Together 感動と夢を与える新たな産業へ」
のキャッチコピーを発信。高付加価値コミュニケーションサー
ビス産業へと業態転換していく前向きな姿勢も示しています。

ジャグラ会員の皆様におかれましては、お客様に価格転嫁の
理解を求める際などに、本意見広告をご活用いただければ幸い
です。

多くの印刷物や印刷関連の製品・サービスは、常に私たちの文化を育み、心豊かな生活を支えてきました。そして、近年の環境・社会・経済の大きな変動や長引くコロナ禍のなかで、あらゆる産業と関わりのある印刷産業が果たすべき役割・責任はさらに大きくなっていると実感しています。

このような変化に対して私たち印刷産業は、従来の請負型受注印刷業態から『高付加価値コミュニケーションサービス産業』へと業態を大きく転換させるチャンスと捉え、デジタル分野やBPOなどの新領域・環境に配慮した包装材の開発、SDGsへの対応など、新たな取り組みにチャレンジしています。

一方、エネルギーや原材料の価格高騰、グローバルなサプライチェーンの課題や円安など厳しい事業環境が続くなか、生産性の向上やコスト削減などの改善を続けてまいりました。これからもさらにサービス・品質・企画提案力を向上させ、必ずや価格を超える価値を提供してまいりますので、皆様におかれましては、価格転嫁にご理解いただきますとともに、感動と夢を与える新たな印刷産業にご期待くださいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本印刷産業連合会

印刷工業会
全日本印刷工業組合連合会
日本フォーム印刷工業連合会
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
全日本製本工業組合連合会
日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会
全日本シール印刷協同組合連合会
全国グラビア協同組合連合会
全日本スクリーンデジタル印刷協同組合連合会
全日本光沢化工紙協同組合連合会

Change Together

感動と夢を与える新しい産業へ

一般社団法人 日本印刷産業連合会
Japan Federation of Printing Industries
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内
TEL 03-3553-6025 FAX 03-3553-6079
<http://www.jpfi.or.jp/>

第25回日本自費出版文化賞 大賞決まる

大賞は佐賀県唐津市・寺内ユミさんの『There I sense something』

721点の応募作から選出！



受賞作品発表会の様子と主催者代表として挨拶するジャグラ岡本泰会長（右）

ジャグラ主催、日本自費出版ネットワーク主管の第25回日本自費出版文化賞の最終選考が9月7日に行われ、大賞に佐賀県唐津市・寺内ユミさんの「There I sense something」が選ばれました。

×

今回は721点の応募があり、厳正な審査の結果、寺内さんの作品を最高賞の大賞に選出。その他部門賞7点、特別賞7点、入選作品も決定しました。

記者会見で岡本会長は「今回の応募作品を拝見しましたが、本当に強い人々の想い、自費出版にかける著者の意志が満ち溢れている作品ばかりでした。未来に向けてデジタルを主眼にするのは印刷業界の課題ですが、根底にあるのはお客様、人脈、ネットワークといったアナログな部分です。著者の想いを印刷という手段で表していく。これこそが印刷業界の根本的な仕事であり、足元を見つめた上でデジタルもやっていく姿勢がこれからの業界に必要であると改めて感じさせてもらいました。主催団体として引き続き、自費出版文化賞を支え、この印刷文化を大事にしていきたいと思います」と主催者を代表して挨拶しました。

第25回日本自費出版文化賞の表彰式は、11月12日、東京のアルカディア市ヶ谷で開催の予定です。



受賞作『There I sense something』（2点とも）

お詫びと訂正

本誌9月号において右記の間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

- p1 巻頭言の写真キャプション誤「前列右から4人目が筆者、」正「前列右から4人目が筆者、」
- p6 地域活性化委員会メンバーで委員に抜けがありました佐藤 愛子／(株)クリエイツ。

事務局日誌と今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

9月の事務局日誌

- 1日 プライバシーマーク現地審査（大阪）
- 2日 プライバシーマーク現地審査（大阪）
- 5日 業態進化委員会（Web会議）
- 6日 プライバシーマーク現地審査（栃木）、ジャグラコンテスト委員会（Web会議）、東京グラフィックス理事会（本部）→田中専務、HOPE2022開会式（アクセスサッポロ）→岡本会長
- 7日 MIS研究委員会（Web会議）、日本自費出版文化賞受賞作品発表会（東急REI）→岡本会長、田中専務、ジャグラニュース収録（飯田橋）
- 9日 広報委員会（Web会議）
- 12日 SPACE-21幹事会（Web会議）
- 14日 臨時理事会（会館＋Zoom）、印刷の月記念式典（ホテルニューオータニ本館）→岡本会長ほか
- 16日 生産性向上委員会（Web会議）
- 20日 DTP教室運営委員会（Web会議）
- 21日 ジャグラニュース収録（飯田橋）
- 22日 地域活性化委員会（Web会議）、日印産連ステアリング・コミッティ（日本印刷会館＋Web）→岡本会長・田中専務
- 26日 プライバシーマーク現地審査（愛知）
- 27日 プライバシーマーク審査会（本部）、生産性向上・業態進化委員会合同見学会（神奈川）
- 28日 生産性向上・業態進化委員会合同見学会（神奈川）、ジャグラコンテスト専門委員会（Web会議）
- 29日 プライバシーマーク現地審査（長野）
- 30日 2022全印工連フォーラム（名古屋東急ホテル）→岡本会長

10月のスケジュール

- 1日 SPACE-21全国協議会（東京ドームホテル）
- 5日 MIS研究委員会（Web会議）、ジャグラニュース収録（飯田橋）
- 6日 業態進化委員会（Web会議）、作品展委員会（Web会議）、プライバシーマーク現地審査（兵庫）
- 7日 プライバシーマーク現地審査（大阪）、生産性向上委員会（Web会議）
- 13日 日印産連知財部会→田中専務、プライバシーマーク現地審査（神奈川）
- 14日 委員長会議（Web会議）
- 15日 関東地協千葉大会 総会・懇親会→岡本会長・田中専務
- 16日 関東地協千葉大会 バスツアー
- 19日 ジャグラニュース収録（飯田橋）
- 21日 地域活性化委員会（Web会議）
- 26日 東京グラフィックス60周年記念式典 →岡本会長・田中専務
- 29日 ジャグラコンテスト2次審査実技試験（本部）

11月のスケジュール

- 2日 東京グラフィックス理事会（本部）→田中専務
- 9日 ジャグラニュース収録（飯田橋）
- 10日 MIS研究委員会（Web会議）、業態進化委員会（Web会議）
- 11日 全国協議会（東京ドームホテル）
- 12日 全国協議会（東京ドームホテル）、日本自費出版文化賞表彰式（アルカディア市ヶ谷）
- 14日 SPACE-21幹事会（Web会議）
- 17日 プライバシーマーク審査会（本部）
- 18日 近畿地協総会、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会50周年（上野精養軒）→岡本会長
- 21日 日印産連ステアリング・コミッティ（日本印刷会館 or Web）→岡本会長・田中専務
- 24日 ジャグラニュース収録（飯田橋）、IGAS2022（～28日まで／東京ビッグサイト）

事・務・局・便・リ

出張先で訪れた大阪の立ち食いうどん店。店先の看板には「けつねうどん」「飽きがくるほどアゲガデカイ！けつねうどん」「下品なくらいにダシが濃い！ダシで勝負！」と書かれていました。「きつね」ではなく「けつね」とは？ググってみたら訛りからそうなった説が有力のようです。そして検索したGoogleの日本地図上には、大阪の「天六うどん」と高知の「けつねうどん五台山店」の2軒がヒットして表示されていました。前者は先日訪問した大阪のお店ですが、高知にも存在するとは意外でした。来年の文化典は高知大会です。今度高知を訪問した際には、けつねうどん五台山店の「きつねうどん」を食したいと思っています。（T.I）※「事務局便り」は本部事務局職員が交替で執筆しています

月刊『グラフィックサービス』851号

- 発行日 令和4年10月10日（毎月1回）
- 発行人 岡本 泰
- 編集人 本村 豪経
- 発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006 ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画：ジャグラ広報委員会

担当理事

神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長

委員長

本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事

委員

東海林正豊	秋田・(株)東海林印刷
谷山 和也	東京・書文堂(株)
野口 聡	東京・(株)アクティブ
小澤孝一郎	山梨・(株)オズプリンティング
安達 睦男	大分・(有)舞鶴孔版
瀬尾 淳	広島・(株)広瀬印刷
三宮 健司	高知・(有)三宮印刷
佐藤 愛子	大分・(株)クリエイツ
田中 良平	専務理事
影山 史枝	(株)スイッチ / 外部委員
藤尾 泰一	(有)インフォ・ディー / 外部委員

◎原稿・編集・校正

田中 良平	並木 清乃	阿部奈津子
今田 豪	守田 輝夫	長島 安雄

以上、ジャグラ事務局

藤尾 泰一／(有)インフォ・ディー / 広報委員

日経印刷(株) / 校正のみ

◎渉外 田中 良平 並木 清乃

◎広告 阿部奈津子

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版 / デザイン (有)インフォ・ディー

DTP = Adobe CS6/CC ほか

フォント = モリサワ 0TF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow

CTP = 富士フイルム XP-1310R

刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX

印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P

インキ = DIC

用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg

※本誌はFSC森林認証紙（管理された供給源からの原材料で作られた紙）とLED-UVインキ（リサイクル対応型）を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2022 JaGra

禁断断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

RMGT 970 が あなたの SDGs を アシスト Assist

“誰一人取り残さない”社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もそのニーズに応えることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。



人に優しい

ワンボタン操作で楽々印刷の
スマートアシストプリンティングで人に優しい



地球に優しい

品検・濃度・見当調整をインラインで行い
損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい



経営に優しい

アイコンやグラフを使った誰にでも解りやすい
グラフィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な
LED-UV で地球に優しい

短納期に対応できる
ワンパス両面印刷で経営に優しい

刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる
菊全判ジャストサイズだから経営に優しい



リョービ MHI
グラフィックテクノロジー株式会社